

調和小学校第2回学校評議員会・学校関係者評価委員会まとめ

★実施日時：平成29年10月24日（火）午前11時30分から午後1時15分

★場 所：調和小学校 3階ランチルーム

★出席者

○学校関係者評価委員

石井教譽様（教育関係者）、角田啓子様（民生児童委員）、清田裕理様（元PTA会長）、石井美津子様（調和地区スポーツ推進委員）

○学校評議員

北村幸江様（つつじヶおか幼稚園長）、鈴木るい子様（健全育成推進調和地区委員会会長）、小川雅弘様（調和地区協議会副会長）、鈴木俊一様（保護司）、蕪澤加代子様（民生児童委員）、佐野宏様（調和SHC倶楽部理事）、浜中佳朗様（保護司、学校ボランティア）

★内 容：・校長あいさつ ・授業参観（4校時） ・給食試食 ・意見交換

★配付資料：・学力テスト・体力テストの結果（東京都平均との比較、経年変化を含む）

・4月、6月学校公開アンケート結果 ・教職員中間学校評価及び各部検討結果

【校長の話】

<運動会>

- ・天候が心配されたが、運動会を開催することができた。地域の方が、率先して準備、後片付けなどを手伝ってくださり、感謝している。

<たてわり班活動>

- ・今、たてわり班活動に力を入れている。上級生がリーダーシップを発揮して下級生をリードしている。下級生は上級生にあこがれ、その姿を見本としている。

<学校公開>

- ・6月の学校公開のアンケートでは、①分かりやすい授業の項目では肯定的な評価が100%となっている。一方、④あいさつの項目は、肯定的な評価が80%あるが、他の項目より低くなっている。学校内ではあいさつができるようになってきている手応えを感じているが、校外でもあいさつができるように、継続的に指導していく。

<学力テスト・体力テスト結果>

- ・学力テストの結果は、東京都の平均を全ての教科で上回っている。一方、質問紙による意識調査では、学習意欲などが低く、課題がある。
- ・体力テストの結果は、一部の学年を除き東京都の平均を上回った。今年度は校内研究を体育とし、小学校の体育指導に実績のある奈尾力先生を年間講師に迎え研究を行っている。

<適応指導>

- ・教職員の学校中間評価の中で、適応指導の見直しについて、多くの意見が上がっている。本校は、配慮を要する子への対応が強く求められる場面が多い学校であると認識しているため、校長としては、これまでの適応指導を継続していきたいと考えている。

<不登校>

- ・現在3名の児童が、不登校気味である。1名は改善に向かっている。家庭と連携しながら取り組んでいる。

<特別支援教室増設>

- ・来年度、調布市では特別支援教室の拠点校が4校から8校に増設される。本校の地区では、緑ヶ丘小学校が新しい拠点校となるため、本校からの巡回は、国領小と若葉小になる。

<新学習指導要領への対応>

- ・来年度から特別の教科道徳が先行実施となり、調布市では光村図書の教科書を使用した授業が開始される。3年生からの外国語活動の実施に伴う時数増加への対応により、来年度から振替休業をしない土曜授業を年間8回（現行2回）行う。平成30年度の外国語（外国語活動）の時数は、3、4年生が年間22時間、5、6年生が55時間とする。

<ICT>

- ・タブレット型PCの導入について 今年度末に市内10校の小学校に先行導入される。本校は、来年度以降の導入が予定されている。

【学校評議員の方からの意見】

<学力テスト・体力テスト結果から>

- ・ 教科担任制の休止など、思い切った改革を通して全校で体力向上に取り組み、体力テストの結果に大きな成果を上げたことは素晴らしい。
- ・ 学力テストの質問紙から、国語と算数の授業の満足度が低いことが憂慮される。塾などでは、ICTを活用した学習指導を進んでいる中で、古いタイプの学校の授業に対する満足度が低くなっているのではないかと。今後、ICTの積極的な活用を進めていくことが課題である。
- ・ 児童の主体的な学習への取り組みを促すために、学校はどのような工夫をしているのか。→教員は事前の授業準備を丁寧に行っている。学ぶことの必要感、意義を児童が実感し、児童の好奇心に火をつけるような導入を工夫している。また、学習後の振り返りで、何を学んだのか児童が手応えを感じることができるよう学習が積み重ねられるよう授業改善に努力している。

<適応指導>

- ・ 適応指導について、思い切って変えることはマイナスではなく、一つの良さではないか。現在の適応指導は継続すべき、調和小の特色である。
- ・ 適応指導の導入時と現在の状況は、変化してきている。先生方の負担感が大きいならば、見直してもよいのではないかと。

<不登校>

- ・ 不登校児童について 先生のやさしい言葉かけが子供の励みになると思う。

<授業参観・給食試食から>

- ・ どの学級も非常に落ち着いており、集中して学習している様子や楽しんで学習している様子が見られた。
- ・ 5年連合音楽会の合奏の練習場面で、子供たちからぜひ聞いてほしいという積極的な要望があった。子供が「聴いてほしい」という思いをもつような、子供を育てている先生の指導が素晴らしい。
- ・ 教室の私物がきちんと管理されている。教室環境が整うことが、子供たちが集中できる環境となっている。
- ・ どの学級も学習が充実しており、板書の字がきれいで、全体が整っている。
- ・ 掲示物が充実している。2年生の八木節マスターの掲示では、踊りのポイントを図式化視覚化している工夫が素晴らしい。3年生の運動会への取り組みなど、KJ法を利用して子供の取組意欲の向上が工夫されている。あいさつへの取組なども、これらの方法を使って意識を向上させていけるとよい。
- ・ 子供の作品から毛筆がきちんとしっかり指導されている様子が伝わる。
- ・ 給食がとてもおいしかった。しっかり噛まなければならないメニューが工夫されている。

<中間学校評価から>

- ・ 体育館遊びが危険であるという記述が気になった。→ 全ての子が遊べる場の確保が十分でない現実があり、安全性の確保のため、利用の仕方を現在検討中である。また、子供たちは工夫して遊ぶことが苦手なため、遊び方の指導を集会などで行っている。
- ・ 学校評価から、先生方の雰囲気が変わってきたこと（自主性の高まり）を感じた。

<その他>

- ・ 毎朝、見守りをしていて気になることは、同じ子が遅れて登校している。安全面が心配である。→8:20の時点で登校していない児童は、全て家庭に連絡し、安全の確認と家庭の啓発に努めている。登校時間に外に出て児童の見守りをしてくださる地域の方のご好意に感謝している。
- ・ 健全育成の一泊キャンプで、花火を逆に持つなど、遊び方を知らない子供がいた。子供たちの生活経験の乏しさを実感している。「遊び方」を教えることの必要性を感じている。
- ・ 幼稚園では、調和小学校の人気が高い。
- ・ 夜遅くまで仕事をしている先生方が多いように思う。先生が疲れをためていないか健康面が心配である。→授業準備などのため、夜遅くまで仕事をしている教員が多い現状がある。ライフワークバランスの観点から、見通しをもち効率的に仕事を進めることで早めに仕事を切り上げるよう話している。